

## 第24回クロマティックハーモニカ道場 一美塾 発表会

2022年11月15日(火)

5	<p>ところで曲名の花の名前を知らなかったが、ガーベラというキク科の種とのこと。ご多分にもれず、花言葉があり、赤:チャレンジ、ピンク:崇高な、黄色:究極の愛、オレンジ:我慢強さ、白:希望などなど..を意味するとされてます。</p> <p>この花は正に震災復興を象徴する花と言えるのではないのでしょうか。</p> <p>以上のような諸々のコメント等を念頭に、作者の思いの一端でも会場の皆さんに伝わる演奏ができれば、私達このうえない喜びとなります。また東日本大震災から早11年を迎える現在、この曲が流れる機会がだんだん減った昨今、ともすれば風化しがちなその当時を思い起こす上でもこの発展も意味があったものと信じています。(藤田)</p>		
6	高木 美和	真珠採りのタンゴ	龍 田
<p>目標:ビブラートの減衰 結果:自分ではやっているつもりだが、聴いている人には伝わらない段階。</p> <p>コメント 今年、年女。大きな節目を迎えました。巷には〇〇〇割引、〇〇〇会員etc.沢山の特典があるようでワクワク(^-^) 20代、30代の若い人たちの誰もが持っている伸びていく才能の芽を大切に、応援出来る大人になりたいと自然と思える様になってきました。 さてハーモニカは…自分の人生、音楽の自由さを楽しめる様になりたいと思う今日この頃です。</p>			
7	藤田 進二	貴方の優しさ	龍 田
<p>目標:グリッサンド、トレモロ、ビブラート 結果:それぞれの奏法、さらなる練習を実感しています。</p> <p>コメント 徳永先生のオリジナル作品で、特にシンプルで覚えやすいメロディとのコメントが目に入り選曲しました。 1コーラス目を低音域で、又、サビの部分にはトレモロ(マンドリン)奏法を加えてみました。徳永先生からの指導に、曲想から全般的に柔らかく流れるようにとのアドバイスがありました。が、演奏技法に溺れ曲想に応じた表現には程遠い結果でした。</p>			
8	高本 昌範	乙女のワルツ	龍 田
<p>10月に入って、近所のいつものおっさん5人(合計359歳)とお庭で芋煮会を実施しました。口は未だに達者だが、食、酒量共にガタ落ち。薬の量が増えてきた人も多くなっています。ゴルフ組が今年は1回も100を切れなかった。元役所の方がニュース、新聞・天声人語の話。話題はバラバラ、人は十色様々。 しかし、みんな愉快そうである。 複数の先輩より来春も「野郎会」を開きたいので、企画するようオファーを受け、来春は野郎会がゆるゆると8年目に入ります。</p> <p>扱、ソロの楽曲をやっと決めたのが1か月半前、完全な練習不足(得意の言い訳)諸先輩がたは早々に決まっていたことでしょう。 暗譜、抑揚、アドリブも入っていたり……、でも、人は人。</p> <p>余り周りと比べないで自分の出来ることが増えるのを、楽しみにゆっくりとやり続けたいものです。</p>			